

## 白谷沢の滝・沢を楽しみましょう 白谷沢～棒ノ折山

実施日 2024年7月20日(土)  
 天候 晴  
 リーダー 遠井 謙策(代行)  
 参加者 遠井謙策、小名秀鋭、滝澤きよの、津田和子、村山智子、花川真弓 計6名  
 費用 私鉄・バス2,220円(池袋起点)  
 タイム 飯能駅(7:30)さわらびの湯(8:11~30)白谷沢登山口(8:55)林道ベンチ(10:30~50)岩茸石(11:00~15)権次入峠(11:40~50)棒の嶺山頂(12:05~35)権次入峠(12:55)岩茸石(13:15~40)林道出合(14:30)名栗川橋BS(13:25~37)飯能駅(16:19)  
 行動 6時間55分(休憩等1時間40分)  
 ↑900m ↓930m

高温高湿熱波の一日。リーダーが集合時刻を勘違いするという思わぬ展開となり、遠井がリーダー代行を務めた。

暑さ対策を整えさわらびの湯を5人でスタート。この暑さの中結構な登山者の数に驚く。ぐるっと回る有間ダムの水量は少ない。



白谷沢登山口から涼しげな樹林の道へ入る。1時間遅れのリーダーはどこで本隊に追い付くか？後ろを気に

しながらゆっくり登っていく。やがて沢が近くなり小さな滝が連続するようになる。

ふと見上げると大柄な百合が咲いていて心が和む。幾度となく渡渉を繰り返して進んでいく。



夏の「ミニ沢登り」ならぬ溪流歩きは、実にすがすがしく爽やかだ。時折り両手を使い、時にロープや鎖を使う場面もあり、中々スリルがあって楽しめる。

このコース、やはり圧倒的に若者が多

い。男女はほぼ同数だ。沢に別れを告げ、林道脇ベンチで大休憩。冷たい水や塩分を補給していると、どこからかプードルが登場、人気を独り占めしていた。

さてもうひと踏ん張り。やっと大きな岩の岩茸石に辿り着く。汗ボタボタの体力バテバテ。だがリーダーはまだ来ない。ふと見るとTさんの体調が思わしくない。

ここから更にキツイ登りになるしここからはピストン。後ろからはリーダーも来る。

待機又はマイペースでの登りをお願いして4人で先に行くことにした。大きく崩れ補修もままならない急坂を喘いで登り権次入峠へ。そしてついに棒の嶺山頂へと、重い体を引き上げた。

待つ身を思い昼食もそこそこに下山へ。体調が戻ったTさんと権次入峠で、又追い掛けてきた来たリーダーとは岩茸石で合流でき、初めての且つ唯一の全員の集合写真を撮った。

疲労を考慮し少しは楽と思しきトウギリ林道経由にコースを変更し下山した。追い付いたリーダーはさすが明るく芸達者、終盤の女性陣はより賑やかに華やき、足取りも軽くなったようだ。

・真夏の狂宴はさすがに一筋縄ではいかず、いくつかのハプニングが生じたが、終始和気藹々、皆無事で元気に下山できたことに感謝したい。

下山後の小宴会も心地良く、又夜各地を見舞った激しい雷雨も帰宅直後だったとのこと。終いは実に上手く締まった感のある一日だったようで嬉しい。



(記&写真・遠井 謙策)  
(写真提供・村山 智子)